



安全上の注意

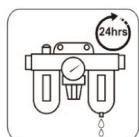
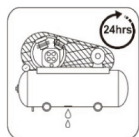
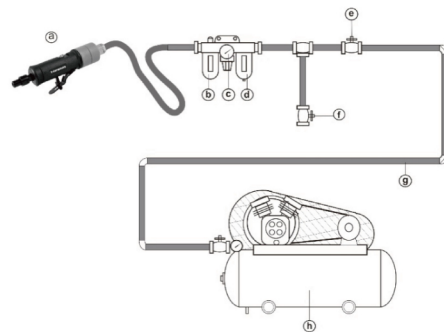
●ツールを使用される前に、下記注意事項をよくお読みになって下さい。安全な操作の為に、各項目を遵守頂きます様、お願い申し上げます。

1. エアツールを使用される前に、安全上の注意を良くお読み下さい。ツールを注意深く検査し、ツールの操作方法をよく理解して下さい。
2. 保護メガネとイヤープラグを着用して下さい。
3. 防塵マスクと手袋の着用をお薦めします。
4. 作業に合った衣服と、安全靴を着用下さい。ゆったりした服装は避け、ネクタイ、長髪、宝石類をツールから遠ざけて下さい。

- ※ツールを使用される前に、エアホースと接続部分に損傷がないかを確認して下さい。
- ※アクセサリーやツールを交換する際には、必ずツールをホースから外して下さい。
- ※ワークピースは、クランプ又は適切な保持装置で固定して下さい。
- ※他の人を、作業エリアから遠ざけて下さい。
- ※ツールの修理は、資格を持った技術者のみが行う事ができます。
- ※振動、繰り返しの動き、不自然な姿勢を続けると、身体に害を及ぼす可能性があります。

●圧縮空気の供給について

1. ご使用前に、エアツールの吸気口に数滴のスピンドル油を注入して下さい。
2. 負荷が掛かっている状態で、エアツールは <a> ツールの構造によって、必要なエア圧力が規定されます。
3. エアフィルター <d> を、時々清掃下さい。
4. エア圧力が低すぎると、エアツールの性能は低下します。逆に高すぎると、過度な摩耗が発生します。
5. 錆を防ぎ、摩耗を減らす為に、ご使用後はエアツールの <a> ホコリなどを取り、オイルを注入して下さい。
6. エアツールは、清潔で乾燥した場所に保管して下さい。
7. コンプレッサーのエアが清潔で、乾燥している事を確認して下さい。
8. エアフィルターと <d> コンプレッサー <h> で、毎日ドレインを排出して下さい。
9. 純正のアクセサリーと、ツールのみをご使用下さい。
10. エアツールには、適切で、定期的なオイル注入が、非常に重要です。オイル注入を怠った場合は、ツールの性能と寿命が著しく低下します。
11. ローターブレードについては、資格のある技術者が定期的にチェックし、適宜交換する必要があります。他の可動部品も、必要に応じてメンテナンスして下さい。



その他の推奨

推奨される最小の配管径 = 10 mm (3/8 in); 推奨されるホース内径は 6.35 mm 及び長さは 8 m 以内
適正空気圧 = 0.49-0.69 Mpa (5.7kgf / cm²)

- | | |
|------------------|------------|
| a. エアツール | e. 遮断弁 |
| b. オイラー | f. 圧力逃し弁 |
| c. レギュレーター | g. 配管 |
| d. フィルター / 水分分離機 | h. コンプレッサー |

●操作上の注意

作業環境

1. エアツールは、爆発の可能性のある環境での使用が禁止されています。
2. エアツールは、足場のしっかりした場所で使用されることをお薦めします。
3. エアツールを、換気の良い場所で使用されることを強くお薦めします。
4. 滑ったり、つまずいたり、転倒したりすることは、重症を負う主な原因となり得ます。
エアツールを操作する前に、作業場の整理整頓、清掃を徹底される事を強くお薦めします。

オイルの注入

エアツールは、適切なオイル注入が非常に重要です。オイル注入を怠った場合は、ツールの性能と寿命が著しく低下します。

注意：エアツールには、使用前と使用後の両方でオイル注入が必要です。

モータへのオイル注入方法

- a. エアツールを、ホースから外します。
- b. オイルを 3 ~ 5cc、エアインレットから注入します。
オイルは、レバーを押せばモーターに届きます。
- c. ツールをホースに接続し、排気口をタオルで覆い、トリガーを押してエアツールを動作させてください。
- d. エアツールを 5 ~ 10 秒空回転させれば、エアの圧力で汚れ等が排出されます。